

会 議 結 果 の お 知 ら せ

令和5年度宮古市自然環境保全専門委員会議を次のとおり開催しました。

令和6年2月6日

宮古市自然環境保全専門委員会議

1 日 時

令和6年1月30日(火) 午前10時30分～午前11時45分

2 場 所

市役所本庁舎2階 2-1会議室

3 会議の概要

自然環境保全専門委員による調査及び報告を行うもの。

詳細は別紙会議録のとおり。

4 問い合わせ先

宮古市エネルギー・環境部 環境課 環境係

電話 68-9078

令和5年度宮古市自然環境保全専門委員会議録概要

1 日 時 令和6年1月30日(火) 午前10時30分～午前11時45分

2 場 所 市役所本庁舎2階 2-1会議室

3 出席者

(1)委員

佐々木宏、三浦秀明、佐々木剛、関川實、寶由夫

(2)事務局

久保田環境課長、上田環境係長、乙戸環境係主任

4 会議概要

(1)開 会

(2)環境課長あいさつ

(3)協 議

①自然環境調査結果報告について

事務局より調査結果について報告。各委員より調査報告書概要及び補足事項について説明。各委員の報告について質疑を行った。

・開催日：令和5年6月8日(木)

・場 所：タイムグラ～小田越周辺

・概 要：早池峰山荘・タイムグラ付近ではシカによる草・木の食害が見られた。多種多様な花や草が観察され、山荘の横ではキセキレイの営巣・抱卵が見られた。

小田越登山口付近では多くの山野草が観察され、鳥類の鳴き声も確認できた。

かわい木の博物館では、ブナ・シナノキ等の原生林で、人の手が加えられていない多くの大木を確認した。

委員

早池峰山に多くの人が入ることを以前から懸念していた。徒歩により早池峰登山をすることは仕方がないが、車で近くまで乗り入れできることは自然にとって良い影響はないと考える。

委員

春から夏にかけての端境期に当たる時期の調査だったため、レッドデータブックに掲載されているような昆虫類は発見できなかった。全体的にどこでも生息している昆虫だった。数年前に岩手県内では絶滅したと言われている、チャマダラセセリを探したが見つかることはできなかった。

委員

調査時期が鳥の繁殖期に当たり、日中の鳥の鳴き声も聞こえない時期であったこと、鳥の個体数自体が減っているため競争して鳴くことが少なくなっていることから、確認できた鳥類が少なかった。20～40年程前と比べると、温かい地域の鳥が増え、寒い地域の鳥が減っている印象を受ける。

早池峰山の山開き前であったにも関わらず、登山者の車が確認され、オーバーユース対策が必要と感じた

委員

各所の案内看板にクマの爪跡が残されていた。クマはペンキやシンナー等の揮発性の高いインクの匂いを好むため、今後の案内看板等の整備には、揮発性インクの使用を避ける対策も必要と考える。

②動植物の情報について

事務局より市で把握しているオオミズナギドリ保護件数、ニホンジカ有害捕獲数、ツキノワグマ有害捕獲数、ツキノワグマ被害・目撃件数状況について報告。各委員からの質疑を行った。

委員

R5年中にオオミズナギドリを3羽確認した。1羽は浄土ヶ浜でカラスに食べられていた。パチンコ店の明かりに集まることが多いため、野鳥の会として指導をした経緯がある。11月が繁殖期で、この時期の天気が「雨」「西風が強い日」に保護件数が増える傾向がある。

③令和6年度現地調査候補地について

平成18年度以降の調査実施状況を踏まえ、事務局より新里地区の調査を提案し、候補場所・実施時期について意見聴取。

委員

源兵衛平・亀ヶ森・安庭ノ沢・堺の神などはいかが？

委員

源兵衛平に賛成する。レッドデータ A ランクのセダカオサムシの生息地周辺で大規模に開発工事が行われていることから、調査は必要と考える。

開催時期は7月上旬か8月上旬を希望する。

委員

もう一箇所調査するのであれば、重茂はいかが？オモエザサについて調査したい。候補は、姉吉・トドヶ崎・千鷲・石浜周辺を提案する。

⇒重茂南部の調査も検討していたため、令和6年度は2回開催することとし、時期や場所については近くなってから各委員へ連絡することとしたい。

④その他

事務局から来年度の委員の受託の意向調査への協力依頼をした。

委員

宮古市で初採集となったクロフカバシヤクに関する記録を執筆した岩手虫乃會會報を配布。

委員

R5.6.2 に岩手県で2例目となるジョウビタキの繁殖を川井地区で観測したことを報告。

委員

宮古湾沖の海洋情報やトラウトサーモンの養殖による水質の状況について、市で把握しているものがあれば、市民に対しても情報公開するようにしてほしいと考える。

(4)閉 会